

知事コメント

令和3年9月2日(木)

県民の皆様、平素からの感染対策のお取り組み誠にありがとうございます。本日確認されました新規陽性者数は565名。2週間前には旧盆などもあり、流行の更なる拡大が懸念されておりましたが、今週は月曜日より前週比新規陽性者の減少がみられており、県民の皆様の感染対策のお取り組みが徐々に実を結び始めていると考えております。

しかしながら、沖縄県疫学統計・解析委員会によれば、実行再生産数は0.9と、7週間ぶりに1を下回ったものの、本県の状況は全国的にも最も高いレベルで流行しながら、下げどまっている状態と示されております。

それに加えて、感染者の回復等と同様に、医療提供体制の回復には、しばらくの時間を要します。

県は、9月1日より沖縄市に新たに2カ所目の入院待機ステーションを設置し、ひっ迫している医療機関への入院調整の間、救急現場における県民の命を守る体制の拡充をしたところです。臨時施設での「酸素供給ユニット」の設置は全国初となりますが、これにより少しでも県民の皆様の不安、医療機関のひっ迫状況を和らげたいと考えております。

医療提供体制のひっ迫状況改善のためにも、引き続き感染対策のお取り組みをお願いすることになりますが、県としましても、長らく続いている緊急事態措置期間により、多くの方々にご不便な生活をお願いしていることや、事業者の皆様が先行きの不透明な状況により、計画的な事業活動再開の目途が立てられない状況について非常に心苦しく思っております。

しかしながら、感染状況は下げ止まりをみせ、県内の医療提供体制の回復には更なる感染対策の徹底が必要です。そのため、本日県は対策本部会議を開催し、県民の皆様や関係団体と緊急事態措置の緩和に向けて、経済再開の目安を共有し、より一層の感染対策をお願いしたく、「緊急事態宣言解除及び経済活動再開に向けた見通し」を作成致しました。

本見通しは、県民の皆様の感染対策の御協力を頂き、今後感染者の減少が継続され、現在緊急事態措置として行っている規制を段階的に解除していくことを目指し作成したものです。

本見通しでは、今後前週比0.8倍で新規感染者数が推移しますと、10月頭頃に大規模集客施設に土日の休業要請を開始しました7月29日頃と同水準である1日当たり230人になり、10月末頃にまん延防止等重点措置に移行した4月9日と同水準である110人になると推計しております。

県としては、一日の新規感染者数が200人程度の水準まで減少が見られれば、経済活動再開に向けて、徐々に対策緩和していきたいと考えており、さらに新規感染者数100人程度の水準であれば経済活性に向けた取り組みを展開する議論が可能であると考えております。

また、前週比0.7倍で推移することが出来れば、半月ほど早く9月中旬頃から段階的解除期間の時期を迎えられるとと推定しています。

ただし、具体的な解除の検討にあたっては、新規感染者数のみでなく、他の指標や変異株の動向、医療提供体制のひっ迫状況を考慮し、専門家等の意見を踏まえて決定する必要があります。

緊急事態措置の解除は国の総合的な判断によるものでありますが、県としての見通しを国にも丁寧に説明し御理解頂けるよう図って参ります。

また、本見通しの作成にあたっては、ワクチンの接種加速化が要となっております。ワクチンの発症予防、重症化予防とともに、国の基本的対処方針において示唆のある感染予防効果についても期待しており、ワクチン接種が進めば、医療提供体制の回復に貢献し、経済活動の再開、段階的な規制解除に大きく資するものと考えております。

県内のワクチン接種状況については、ワクチン接種基本方針に示した「8月末に全住民の50%に1回目接種」という目標を、8月31日時点50.7%と達成したところです。県としまして、10月末の70%に向けて更なる接種の加速化に取り組んで参ります。

県としまして、県民の皆様の感染対策のお取り組みを、医療提供体制の回復にも繋げるため、全力で取り組んで参ります。県民の皆様、緊急事態措置の解除に向けて、感染防止対策の徹底を何卒宜しくお願い致します。